メンテナンス情報

お得意先 各位

いつもお世話になっております。メンテナンス情報として、
下記の資料をお送りいたします。どうぞご査収願います。

カスタマーエンジニア　各位

発行日	２０２５年５月１４日	NO. SC2531016	（ 産 ・ 流 ）
機種	WM-AILX（SA 仕様、PC 仕様）		

P-1186, P-1105の混在可能対応、ヘッド切れ不具合修正について

【内　容】

メンテナンス性の向上およびソフト修正の為バージョンアップを実施しました。
最新バージョン　SA 仕様：J1119U、PC 仕様：J1113P

【P-1186、P-1105 基板、混在可能対応】

従来、包装制御基板 P-1186 と P-1105 は混在不可でしたが、メンテナンス性向上の為、混在可能としました。
混在させる場合は、必ず A200（本体右下）の基板を P-1186 にして、最新の代表ソフトと包装機アプリのインストールが必要となります。包装機アプリダウンロード後は P-1186 用と P-1105 用それぞれの包装機アプリバージョンが統一されている事を確認してください。

例）P-1186 基板：J1219A、P-1105 基板：J1238A



包装機アプリバージョンが不一致の場合はエラー0494-000*「包装機に問題が生じました。」が表示されて生産が出来ません。
（詳細は添付資料を参照ください）

【不具合修正】（添付の補足資料を参照ください）

・サーマルヘッドが切れていないにも関わらずヘッド切れエラーが出る場合がある不具合の修正
ラベル発行後に実施するヘッドチェックにて新たにドット不良発生が疑われる時、即 NG とはせず、最大 3 回までリトライを行い、3 回とも NG となった時にエラー判定とする。
・その他修正内容 17 点（SA 仕様、PC 仕様）

【備　考】

特殊ソフトにつきましては順次対応予定です。

以上

添付資料	有 ・ 無	資料名：ソフト情報、取付混在補足資料、不具合修正内容

発信元

株式会社イシダ　コンタクトサポートセンター

本書には株式会社イシダの秘密情報が含まれていますので、秘密情報として取扱いをしてください。　本書に関する著作権は株式会社イシダに帰属しますので、本書の内容を無断で複製・頒布等することは禁止されています。

承認	確認	担当
浅田	長澤	中田

RCS01330

【SA 仕様、PC 仕様の共通不具合修正内容】

1. プリンタのヘッド切れエラーが出る場合がある不具合の修正

ラベル発行後に実施するヘッドチェックにて新たなドット不良発生が疑われる時、即 NG とはせず、最大 3 回までリトライを行い、3 回とも NG となった時にエラー判定とする。

2. エラー画面表示とプログレスバー表示が重なってフリーズする不具合の修正

事前にメモリの実態があることを確認し、実態があればメモリにアクセスするように処理を修正した。

3. フォーマット作成画面で、基本/ユニット/プレビュータブ切替するとフリーズする不具合の修正

描画データが空の状態で描画関数が処理される事を想定していなかった。描画関数にて、描画データが空であるかをチェックし、空であった場合には描画処理を実行しないようにした。

【SA 仕様の不具合修正内容】

1. 「調整：貼機」にて、POP ラベルの長さを 60.0㎜ 以上に設定できない不具合の修正

POP ラベルプリンタを参照するように処理を修正した。

2. 店舗リアルクラウド仕様のプログラム更新が遅い不具合の修正

器物の受信バッファサイズを、プログラムとデータ受信時のみ 2kB から 500kB に拡張した。

3. 上位に送信される実績電文及び実績 CSV ファイル内にデータ 0 のレコードが生成される不具合の修正

(USB メモリ内の実績 CSV ファイルにもデータ 0 が書き込まれている)

実績クリアする前に保留中実績が存在する場合は、エラークリアする前に実績書込みを行うようにした。

保留中実績送信時、万が一、実績データがオール 0 の場合は、実績書込みを行わないようにした。

4. IOT システムにエラー情報が送信されない不具合の修正

エラー発生時の解除処理でエラー通知を行っていたが、解除操作を伴わないエラー通知で漏れていた。

5. イメージ 1 一覧へ遷移後、何もせずに戻るキーを押下すると 0 以外を設定していても 0 が設定されてしまう不具合の修正

イメージ 1 一覧へ遷移したときに遷移前のイメージ No を保持しているので、戻るキーを押下時に保持している値を設定する処理を追加した。

本書には株式会社イシダの秘密情報が含まれていますので、秘密情報として取扱いをしてください。
本書に関する著作権は株式会社イシダに帰属しますので、本書の内容を無断で複製・頒布等することは禁止されています。

【PC 仕様不具合内容修正】

1. 生産完了後に、金検コンベヤが停止しないことがある不具合の修正

終了チェックラベル発行後時の、金検コンベヤ停止タイマーをクリアする処理を削除した。

2. 操作ログの履歴表示と実績に押したキーが異なる不具合の修正

「スタート」キーが押下の履歴された場合は「スタート」、「品終」キーが押下された場合は「品終」、「打切」キーが押下された場合は「打切」を、それぞれ履歴表示できるようにした。

3. メモリリークの対策

エラー時の処理を修正、合わせて起動時でもメモリリークがあったため修正。

4. マスタリスト画面でヒット件数ゼロの状態で検索を解除すると詳細ボタンが押下できなくなる不具合の修正

表示関数でリスト研修がゼロでない場合、「詳細」ボタンを有効にする様にした。

5. 再起動すると 50 音検索できなくなる不具合の修正

生産モード起動時に 50 音検索用メモリを再構築する処理を追加した。

6. 店マスタテストデータ設定時の初期値変更

調整:メモリ初期化画面で、テストデータ設定時の店 1 の「オート振分」「上下限チェック有無」が「対象店」にセットするように修正した。

7. 販促特価が反映されない生産ラベルが発行される不具合の修正

「設定:システム:拡張」画面の「フォーマット優先順位」の設定内容に関係なく、ラベルエラー発生時などに、販促特価がラベル印字に反映されるように、処理の流れを修正した。

8. 電子ジャーナルが「あり」に設定されていても、「ジャーナルエラーログ」設定スイッチが非アクティブになる不具合の修正

ジャーナルプリンタ「なし」かつ電子ジャーナル「なし」の設定の場合のみ、「ジャーナルエラーログ」の設定スイッチをグレーアウトするようにした。それ以外の組み合わせでは、「ジャーナルエラーログ」の設定スイッチをグレーアウトしないようにした。

9. 加工ロットが商品マスタ要求にセットされない不具合の修正

AI シリーズと同様に、PCRS への指示要求で、商品マスタ部要求時(処理識別番号 3101)に加工ロットをセットするようにした。

10. ファイル入力画面での店マスタ削除時に、自社名がセットされない不具合の修正

No.99999991～No.99999995 の 5 件のみを生成する処理に変更した。

本書には株式会社イシダの秘密情報が含まれていますので、秘密情報として取扱いをしてください。
本書に関する著作権は株式会社イシダに帰属しますので、本書の内容を無断で複製・頒布等することは禁止されています。

【取付基板確認方法】

・基板混在している時（【図 1、図 2】）

P-1186 基板と P-1105 基板が混在している場合は、包装機アプリが下記のようにタッチで詳細表示と記載されています。

タッチで詳細表示を押すと取り付けされている基板バージョンが表示されます。

（代表ソフトが J1119U（J1113P）の時、P-1105 が新品基板の場合は、包装機アプリバージョンの都合により、バージョンに該当箇所が「unknown」と表示されます。）

<u>P-1186 基板のバージョン</u>

・ブート J1106C

・アプリ J1219*

<u>P-1105 基板のバージョン</u>

・ブート J0860B

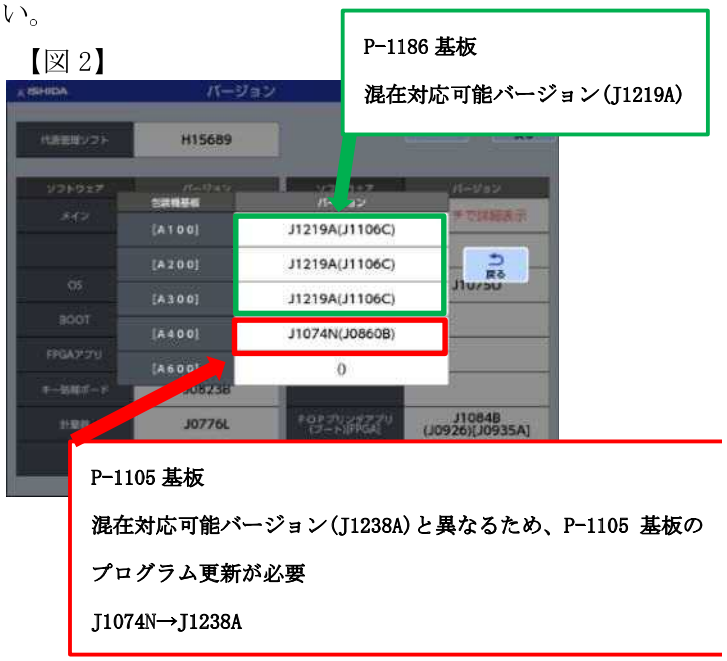
・アプリ J1238*

※アプリの*は P-1186 基板、P-1105 基板共に揃えてください。

【図 1】



【図 2】



本書には株式会社イシダの秘密情報が含まれていますので、秘密情報として取扱いをしてください。
本書に関する著作権は株式会社イシダに帰属しますので、本書の内容を無断で複製・頒布等することは禁止されています。

【ソフトダウンロード方法】

<例>

①基板混在している時（【図 4】）

P-1186 基板用の J1219A と P-1105 用の J1238A をそれぞれダウンロードして下さい。

順番はどちらが先でも問題ありません。

②基板混在していない時（【図 5】）

従来通り、包装機アプリをダウンロードしてください。

【図 4】



【図 5】



【注意事項】

包装制御基板(P-1105、P-1186)は A100～A600 で使用されています。

基板混在時、A200 に P-1105 を取付けた場合、P-1186 に P-1105 用ソフトが書きこまれてしまい、その P-1186 のせいで二度と起動しなくなり、P-1186 を交換しないと復旧しません。

復旧パターンとして、以下のパターンがあります。

①A100、A300～A600 の基板を P-1105 基板に統一してください。

②A200 に取付されていた P-1105 基板を A300 などに移設し、P-1186 を全て交換してください。

※特殊ソフトは代表ソフトが今回のベースソフトではありませんので混在不可です。

本書には株式会社イシダの秘密情報が含まれていますので、秘密情報として取扱いをしてください。
本書に関する著作権は株式会社イシダに帰属しますので、本書の内容を無断で複製・頒布等することは禁止されています。

【P-1105/P-1186 の混在を可能としたメンテナンスパターン】

赤色が故障個所、黄色が付随して交換必要箇所

【P-1105 で構成されている機物】

<table>
<tr><td colspan="4"><u>A200 の P-1105 を P-1186 でメンテする場合→基板はそのまま交換＋ソフト更新が必要</u></td></tr>
<tr><td>代表ソフト</td><td>包装機アプリ</td><td>識別名称</td><td>制御基板</td></tr>
<tr><td rowspan="5">SA 仕様：J1119U
PC 仕様：J1113P</td><td rowspan="5">J1219A
(P-1186 用)

J1238A
(P-1105 用)</td><td>A100</td><td>P-1105</td></tr>
<tr><td>A200</td><td>P-1105 → P-1186</td></tr>
<tr><td>A300</td><td>P-1105</td></tr>
<tr><td>A400</td><td>P-1105</td></tr>
<tr><td>A600</td><td>P-1105</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>A200 以外の P-1105 が故障し、P-1186 でメンテする場合</u>
<u>→A200 を P-1186 へ交換し、外した P-1105 を故障した箇所へ移設する+ソフト更新が必要</u></td></tr>
<tr><td>代表ソフト</td><td>包装機アプリ</td><td>識別名称</td><td>制御基板</td></tr>
<tr><td rowspan="5">SA 仕様：J1119U
PC 仕様：J1113P</td><td rowspan="5">J1219A
(P-1186 用)

J1238A
(P-1105 用)</td><td>A100</td><td>P-1105</td></tr>
<tr><td>A200</td><td>P-1105→ P-1186</td></tr>
<tr><td>A300</td><td>P-1105</td></tr>
<tr><td>A400</td><td>P-1105 → P-1105
(A200 から移設)</td></tr>
<tr><td>A600</td><td>P-1105</td></tr>
</table>

本書には株式会社イシダの秘密情報が含まれていますので、秘密情報として取扱いをしてください。
本書に関する著作権は株式会社イシダに帰属しますので、本書の内容を無断で複製・頒布等することは禁止されています。

【P-1186 で構成された機物】

P-1186 を P-1186 でメンテする場合→基板そのまま交換			
代表ソフト	包装機アプリ	識別名称	制御基板
SA 仕様：J1119U PC 仕様：J1113P	J1219A (P-1186 用) J1238A (P-1105 用)	A100	P-1186
		A200	P-1186→P-1186
		A300	P-1186
		A400	P-1186
		A600	P-1186

A200 以外の P-1186 が故障し、P-1105 でメンテする場合 →基板はそのまま交換+ソフト更新が必要			
代表ソフト	包装機アプリ	識別名称	制御基板
SA 仕様：J1119U PC 仕様：J1113P	J1219A (P-1186 用) J1238A (P-1105 用)	A100	P-1186
		A200	P-1186
		A300	P-1186
		A400	P-1186→ P-1105
		A600	P-1186

本書には株式会社イシダの秘密情報が含まれていますので、秘密情報として取扱いをしてください。
本書に関する著作権は株式会社イシダに帰属しますので、本書の内容を無断で複製・頒布等することは禁止されています。

標準ソフト取得リンク先

http://ext-web2.ishida.co.jp/sc/sc1/section/r-giji/ryutu-soft_folder/ryutu-soft.html

本書には株式会社イシダの秘密情報が含まれていますので、秘密情報として取扱いをしてください。
本書に関する著作権は株式会社イシダに帰属しますので、本書の内容を無断で複製・頒布等することは禁止されています。